

子宮摘出訴訟で 原告の請求棄却

長野地裁

長野赤十字病院(長野市)で2005年、子宮壁の隆起部をポリプと誤診されて受けた切除手術で動脈を傷つけられ、止血のため子宮を摘出されたとして、北信地方の40代女性が、日本赤十字社(東京)と担当医に慰謝料など3300万円余の損害賠償を求めた訴訟の判決で、長野地裁は26日、請求を棄却した。

近藤ルミ子裁判長は「複数の医師が(隆起部を)ポリプと疑い、視診や超音波検査から一般的なポリプの形状と考えることができた」と判断。「子宮壁の変形と疑うことは困難だった」とした。また、女性が出血し腹部の痛みを訴えた時点で切除手術を中止すべきだったとの原告側主張は、「出血量が増えたのは切除が終わってからで腹痛も切除中にはなかった。手術を中止すべき事情があったとはいえない」と退けた。手術では担当医が子宮外側の動脈を切断したため、子宮を摘出して止血。その後の病理検査で患部はポリプではなく、ただの隆起と分かった。

女性と話し合ってたて決めた、同病院は「適正な判断をしてもらった」としている。

性同一性障害女子 男子制服で通学へ

鹿児島島の中学校

心と体の性が一致しない性同一性障害と診断された鹿児島県内の公立中学1年の女子生徒(13)について、学校側が4月から男子制服で通学するのを認めたことが26日、学校

と地元教育委員会への取材で分かった。

名簿上の性別の扱いや、体育の授業をどうするかなどは今後、生徒や両親の希望を聞きながら対応を検討する。

学校と教委によると、生徒は「セーラー服を着ると頭が痛くなる」と女子の制服を嫌がり、昨年7月に両親が「男子の制服で登校できないか」と相談。学校側は教委と協議した上で「前例がない」「診断が出ていない」として認め

なかった。

このため、生徒は同9月から体操服で通学。今月20日に医療機関で性同一性障害と診断されたのを受け、学校側が男子の制服着用を認めた。

中日ネルソン投手 実弾所持疑い逮捕

沖縄の空港で

沖縄県警豊見城署は26日、那覇空港(那覇市)で実弾所持したとして、銃刀法違反の疑いでプロ野球中日ドラゴンズの投手、ネルソン・ペレスを逮捕した。2009年に登録されたが、成績を残さなかった。

斜面崩れ 別荘2軒損壊

信濃町 無人けが人なし

26日午前8時すぎ、上水内郡信濃町野尻の別荘地で斜面が崩れ、崩落部分の上方と下方の別荘2軒が損壊しているのを通り掛かった男性が見つけた。長野中央署信濃町交番に通報した。ともに無人で、けが人はなかった。同署や町は、ここ数日の暖かさで雪が解け、地盤が緩んだとみている。

同署によると、土砂と雪が高さ約30センチ、幅20～30センチの範囲に広がった。斜面下方の東京都渋谷区、会社員久原義之さん(74)の木造2階建て別荘は直撃を受けて柱が傾いたり、窓ガラスが割れたりした。上方の兵庫県西宮市、会社員松井康一郎さん(46)の木造平屋別荘はベランダの一部が壊れた。

町は現場に続く町道を通行止めにし、安全が確認され次第、土砂の撤去を進めるとしている。

崩れた斜面と久原さんの別荘(右)。崩落部分の真上が松井さんの別荘＝26日午後3時40分ごろ、信濃町野尻



原告側が和解案提出

トンネルじん肺 長野地裁訴訟

国発注のトンネル工事ではじん肺になった県内外の元作業員ら4人が、ゼネコン11社に損害賠償を求めた訴訟の第5回口頭弁論が26日、長野地裁(近藤ルミ子裁判長)であり、原告側は、じん肺補償基金創設などの和解案を提出した。ゼネコン側は、同様の訴訟が係争中の東京地裁が24日の協議で、長野など全国12地裁の訴訟で統一した和解案作成を主導したいとの考えを示した。

被告側は鹿児島(東京)の代理人弁護士が出廷。東京地裁での24日の協議に触れ、同地裁が統一した和解案に基金創設を盛り込むことを示した。原告側は、元作業員は判決を睨んで訴訟を終了し、補償を受けられる基金を設立し、じん肺被害根絶に向けて労働環境の改善などに努力するよう要請。元作業員への謝罪も求めた。

被告側は鹿児島(東京)の代理人弁護士が出廷。東京地裁での24日の協議に触れ、同地裁が統一した和解案に基金創設を盛り込むことを示した。原告側は、元作業員は判決を睨んで訴訟を終了し、補償を受けられる基金を設立し、じん肺被害根絶に向けて労働環境の改善などに努力するよう要請。元作業員への謝罪も求めた。

ヨト 重上 成之 欠事

3回転ジャンプに成功する
と、12歳までに4種類で跳べるようになった。

ほどのみ込みが早かった。
韓国では「国民の妹」「フイグリア・クイーン」と呼ばれて上った。

サー契約が
0万ドル(約
100万円)に
上った。